

◆2016 年度活動報告

バリアフリー部会の 2016 年度最大の目標はバリアフリー法の改正であった。バリアフリー法は 2006 年の制定以降見直しがされていない。この間、国内外では障害者基本法改正、差別解消法の制定、権利条約の批准といった大きな変化があり、バリアフリー法だけが改正されず、齟齬が生じている。オリパラの追い風に乗って、2 月 20 日に UD2020 行動計画が策定され、3 月にはついに法改正を見据えた検討会が立ち上がった。

(1) 東京オリパラ競技大会

① Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン

2015 年度にガイドラインを検討するワーキングのもとに 8 つの部会が立ち上がり、DPI 日本会議からはすべての部会に委員を送り、意見提起を行った。この取りまとめは、国際パラリンピック委員会 (IPC) の承認があり、3 月 24 日に組織委員会のホームページにて公開された。

② 新国立競技場

2016 年 3 月から 9 月にかけて、新国立競技場ユニバーサルデザインワークショップが立ち上がり、基本設計 (3 月～6 月)、実施設計 (7 月～9 月) と合計 10 回開催された。DPI 日本会議からは委員 2 人、随員 1 人を派遣した。

③ オリパラを見据えたバリアフリー化の推進に関する調査研究現地調査 (3 回)

④ 第三次提言

オリパラプロジェクトで、第三次提言「宿泊・標識・接遇等に関する提言」を 6 月に取りまとめ、関係機関に配布・働きかけを行った。

⑤ その他

オリパラにむけて改修が始まる日本武道館、大江戸線国立競技場駅についても働きかけを行った。関係者を招いてバリアフリーチェックを行い、意見提起も継続して行っている。

(2) UD2020 行動計画

2016 年 2 月より「ユニバーサルデザイン 2020 関係府省等連絡会議」がスタートした。目的は「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、ユニバーサルデザイン化・心のバリアフリーを推進し、大会以降のレガシーとして残していくための施策を実行する」というもので、これからの日本全体のユニバーサルデザイン化の提言をまとめる会議である。遠藤利明国務大臣 (東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当) が議長となり、関係府省の幹部クラスが入っている。その下に心のバリアフリーと街づくりの 2 つの分科会が設けられた。分科会は障害者団体、業界団体が構成員となっており、DPI 日本会議からもそれぞれに委員を送り意見提起を行った。8 月 3 日には中間まとめが出され、2 月 20 日には関係閣僚会議に格上げされ、UD2020 行動計画が策定された。

(3) バリアフリー法関連

5月に政府は観光立国推進閣僚会議（主宰:内閣総理大臣）の第6回会合において、「観光ビジョン実現プログラム2016」（観光ビジョンの実現に向けたアクション・プログラム2016）を決定した。これに基づいて、秋以降に移動円滑化基準の見直し、ハンドル形電動車いすの乗車制限の見直し、建築設計標準の見直し、車いす利用環境の見直し検討会が立ち上がることが決まった。検討会にむけて7月から10月にかけてDPI日本会議としての意見整理を行った。KJ法を使って現在の交通アクセスなどの問題点を出し、提案意見をまとめ、検討委員会で意見提起を行った。

また、11月11日には東洋大学の川内美彦教授をお招きし、バリアフリー法改正にむけた院内集会を実施し、ユニバーサルデザイン社会推進議員連盟でも法改正の必要性を訴えた。

★主な検討会

- ① バリアフリー法および関連施策のあり方に関する検討会
- ② 鉄道における車椅子利用環境の改善に向けた実務調整会議
- ③ 移動円滑化のための基準検討委員会
- ④ ハンドル形電動車椅子の公共交通利用等に関する調査検討委員会
- ⑤ 高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計のあり方に関する検討委員会
- ⑥ パーキングパーミット制度の導入促進方策検討会

(4) バリアフリー当事者リーダー養成研修

第10期バリアフリー障害当事者リーダー養成研修が関西で行われ、全国から23人の障害者が受講した。今回の研修の特徴は、初めてDET研修（障害平等研修）の要素を取り入れたプログラム構成とし、障害者の社会参加や多様性に基づいた共生社会を創ることを意識して進めた。

(5) 国交省交渉

権利条約の理念が反映された「IPC アクセシビリティガイド」が注目される中、制定から10年が過ぎたバリアフリー法の改正の必要性を軸に交渉を行った。移動の権利やインクルーシブな視点に立つことなど、権利条約との整合性を明確にするとともに法改正にむけた検討会を設置することを求めた。

(6) その他

- ① リフト付きバス3台導入開始

DPI日本会議の働きかけにより2016年3月～8月に羽田空港国際線（2台）、成田空港（1台）の路線に、空港アクセスバスとしては国内で初めてリフト付きバスの運行（試験運行）

が始まった。

② 新メンバー7人加わる

バリアフリー部会では、新たにメンバーを募集し、全国から7人の部員が加わった。部会は遠隔地からも参加できるように毎回 Skype を使って行っている。

◆2017 年度活動方針

3年かけて取り組んできた高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下、バリアフリー法）の改正がいよいよ始まる。これまで整備が進まなかった小規模店舗、学校、ホテル、共同住宅などのバリアフリー化を進めるために、基準適合義務の範囲拡大を目指し、活発に意見提起を行っていく。また、各種検討会が8つ以上も開かれる見通しなので、すべての検討会に委員を送り込み意見提起を行っていききたい。

（1）バリアフリー法

バリアフリー法の見直しを含め、2016年からの継続の検討会が3つ、新たに5つ、合計8つの検討会が開かれる見通しとなっている。

- ① バリアフリー法および関連施策のあり方に関する検討会
- ② 鉄道における車椅子利用環境の改善に向けた実務調整会議
- ③ パーキングパーミット制度の導入促進方策検討会

★2017年度は新たに下記の5つの検討会が立ち上がる。

- ④ 基準・ガイドライン検討委員会(移動円滑化のための基準検討委員会の続き)
- ⑤ ガイドライン改訂検討委員会(旅客施設・車両等)(移動円滑化のための基準検討委員会の続き)
- ⑥ 交通事業者向け接遇ガイドライン作成等のための検討会
- ⑦ 観光地のバリアフリー評価の普及・促進に関する検討会
- ⑧ 旅客施設等における視覚・聴覚障害者に対する ICT を活用した情報提供・案内に関する調査検討委員会

（2）国土交通省交渉

国土交通省(以下、国交省)が設置したさまざまな分野における検討会での議論に対し、権利条約の理念から大きく外れていないことを確認する必要がある。また、法改正にむけた検討会についても障害当事者の参加のもと確実に実施され、これまで山積みになってきた課題が解決されるよう国交省との交渉を引き続き行っていく。

（3）駅の無人化問題

多くの地域で駅の無人化が進められ、障害者等さまざまな立場の人が不便を強いられている。施設整備を進めれば無人化しても問題がなくなるわけではなく、合理的配慮の観点に基づいた人的対応をしなければ、利用できなくなる人が増えていく。無人駅および時間帯により無人になる駅の構造、規模、設備、人的対応など実態を調査し、その結果を元にさまざまな立場の人が参加した検討会を設置するよう働きかけていく。

（4）東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、オリパラ）

- ① 新国立競技場
4月から施工設計期間ユニバーサルデザインワークショップが始まるので、引き続き委員を送り意見提起を行う。
- ② その他

都営地下鉄新宿線ホームドア設置に合わせて、乗降口の段差解消を働きかけている。これを実現し、モデルとして移動円滑化基準の見直しなどへ広めていきたい。

(5) ユニバーサルデザイン 2020 評価会議

2017年2月に策定されたユニバーサルデザイン 2020(以下、UD2020)行動計画の実施状況の評価する「評価会議」が新たに立ち上がる。障害当事者を過半数以上とし、年に1~2回程度開かれ、UD2020行動計画に基づいた施策が実施されているか評価する検討会である。DPI 日本会議からも委員を送り積極的に働きかけたい。

(6) バリアフリー当事者リーダー養成研修

オリパラの運営に関わるスタッフへの研修の準備が進む中、障害当事者の講師の養成が急務である。今期で第11回を迎える当該研修においても、従来通り障害当事者の講師を増やすために実施する。また、国交省が設置するさまざまな分野の検討会には、障害当事者の委員が不可欠であることから、しっかりと意見を発言し提案ができる人材を育成する。

(7) 連続講座 バリアフリー基本からの勉強会

バリアフリー活動を担う若手育成を目指し、今年度は部会にあわせて連続5回の学習会を実施する。初心者を対象とし、基礎的なことから学べるもので、誰でも参加可能である。遠方の方は Skype でも参加できるため、多くの方にご参加いただきたい。

●第1回 バリアフリー運動の歴史

日時:2017年5月10日(水)部会10時~、学習会15:00~17:00

講師:今西正義(DPI 日本会議バリアフリー顧問)

●第2回 バリアフリー法

日時:2017年7月5日(水)部会10時~、学習会15:00~

講師:今西正義(DPI 日本会議バリアフリー顧問)

●第3回 鉄道事業法と道路輸送法

日時:2017年9月6日(水)部会10時~、学習会15:00~

講師:山名勝

●第4回航空機

日時:2017年11月15日(水)部会10時~、学習会15:00~

講師:今西正義(DPI 日本会議バリアフリー顧問)

●第5回 世界のアクセス

日時:2018年1月17日(水)部会10時~、学習会15:00~

講師:山名勝(台湾・香港)、工藤登志子(アメリカ)、今村登(ヨーロッパ)

※毎回 Skype での参加とビデオ撮影があり、web などで見られるようにする。

※会場未定

※関西でも同じテーマで開催(アクセス関西主催)

(8) その他

- ・ ユニバーサルデザイン社会推進議員連盟で引き続き意見提起を行っていく。